

第3学年通信 No.18 (生徒の皆さん & 保護者の皆さまへ)

宮城県泉松陵高等学校33回生
2015/12/22 発行

<http://www.shoryo.myswan>
文責 平山 元春

I hope your winter vacation will be well spent.
See you next year!

受験は団体戦 センター試験まであと24日

『卒業文集』原稿 1 / 8 担任へ提出 (生徒・保護者とも)

詳細については、本日配布された3学年委員長さんからのプリントをご覧ください。

2016年1月8日(金)の日程

大掃除・全校集会・授業(集会+3年生は特編授業5時限, 2年生は6校時まで, 1年生は7校時まで)

時程	内容
8:30~8:45	朝学習・SHR
8:50~9:10	大掃除(20分)
9:15~9:35	全校集会 1 校長講話(10分) 2 諸連絡(5分)
9:35~10:05	服装・頭髪検査 ※絶対に指導されることの無いように!
10:15~11:00	2校時 授業(特編1校時 45分)
11:10~11:55	3校時 授業(特編2校時 45分)
12:05~12:50	4校時 授業(特編3校時 45分)
12:50~13:35	昼休み
13:35~14:20	5校時 授業(特編4校時 45分)
14:20~	3年生 SHR・清掃
14:45~15:40	3年生 課外 (A 国語 55分)
15:50~16:45	3年生 課外 (B 数学 55分)

3年生の特別編成授業について

1月8日以降、皆さんの希望進路達成のために、3年生は5校時限の特別編成授業になります。5校時終了が14:15で、以後はSHR・清掃・放課となり、その後課外講習が2本立てで行われます。詳細は配布された特別時間割表と、教室掲示されている課外の日程をご覧ください(今までと同じように、授業変更はあります)。

特に進路が内定している人は、その理由をよ〜く考えてください。間違っても問題行動で指導されることなどのないように。また、進路が内定していても、卒業が内定しているわけではありません。今の自分にとって何が一番大切なのか、各自、自分の胸に手をあてて、じっくりと考えて行動ください。

「G P A」について

先日の集会で話した、いわゆる「大学の評定平均のようなもの」のことです。文部科学省のホームページには、次のように書いてあります。

GPA制度：
授業科目ごとの成績評価を、例えば5段階(A、B、C、D、E)で評価し、それぞれに対して、4、3、2、1、0のように数値(グレード・ポイント:GP)を付与し、この単位あたりの平均(グレード・ポイント・アベレージ:GPA)を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

また、日本の大学学部においてG P A制度を導入している大学数は増加傾向にあり、平成24年度の調査で497校、大学全体の66.8%だそうです。その目的は、導入している大学の78%が「奨学金や授業料免除対象者の選抜基準として活用」のためだそうです。

参考として、信憑性は100%ではありませんが、「ウィキペディア」にはこうあります。

GPA (Grade Point Average)とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことをいう。欧米の大学や高校などで一般的に使われており、留学の際など学力を測る指標となる。日本においても、成績評価指標として導入する大学が増えてきている。主成分分析を援用した指標である。

山形大学のホームページには、以下のように書いてあります。

G P A制度

合格した成績の評定をS、A、B、Cの4段階で行い、成績を平均化したG P A (Grade Point Average) を全学的に導入しています。

(1) G P Aの対象となる授業科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がG P Aの対象となります。
また、以下の科目は適用除外科目であり、G P (Grade Point) が付加されません。

- 1 合格か不合格かだけを判定する授業科目
- 2 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4 他大学との単位互換等で修得した科目

教育職員免許や学芸員等の資格取得が目的で、卒業要件単位数に含まれない科目についても、G P Aの対象となりますので、ご注意ください。

(2) 成績評価の評定記号と付加するG P

成績評価は点数方式で行われ、以下の評定記号(S~F、N)に応じ、それぞれの評定区分に応じたG Pが付加されます。

評価区分	評定記号	と評価内容	付加するG P
100~90点	S (秀)	: 特に優れた成績である	4
89~80点	A (優)	: 優れた成績である	3
79~70点	B (良)	: 概ね妥当な成績である	2
69~60点	C (可)	: 合格に必要な最低限度を満たした成績である	1
59~0点	F (不可)	: 合格には至らない成績である	0
	N	: 単位認定科目であり、G P Aの対象としない	なし

(3) G P Aの定義

G P Aは、G P A対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント(4、3、2、1、0のいずれか)をかけ、その合計ポイントG P Sを、それぞれの単位数の総和で割ったものとなっています。

(例) G P A算出方法

科目名	評定	単位数	G	P	
○○○○○○	基礎 S	2単位	4	2	$2 \times 4 = 8$
△△△△△	実験 1 F	1単位	0	1	$1 \times 0 = 0$
◇◇◇◇◇	実験 2 A	2単位	3	2	$2 \times 3 = 6$
合計	5単位	14点	(G P S)		
G P A	=	14点	÷	5単位	= 2.8

(この単位数↑にはF:不合格科目の単位数も含まれます。)

(4) 履修取り消し

一度履修登録した科目の取り消し手続きを行う期間が、各学部ごとに設定されています。この期間内に履修科目取り消しの手続きをしない場合、その科目は成績評価の対象となります。なお、特殊な開講形態(集中講義や実習等)の授業は、各学部で独自に、履修取り消し方法が設定されます。

ただし、履修科目登録の取り消し期間以後、学生に病気や事故等、やむを得ない事情が発生し、学生が履修科目の登録取り消しを希望する場合は、「履修取り消し願」により願い出る事が出来ます。

(5) 再履修した科目の学習成績

不合格となった科目を再履修した場合は、不合格の学習成績と新たな学習成績のデータが併記して累加記録に記録されます。(成績確認表とサポートファイルにも表示されます。)

(6) 各学部の実情に応じた利用

これらのほか、獲得したグレードポイントの総計(G P S)や合格した科目のみによるG P A、学期G P A、教養教育G P A、専門教育G P A、授業形態別G P Aなどを必要に応じて算出し、修学指導に活用することもできます。

東北学院大学のホームページにはこのように出ています。

東北学院大学試験施行細則(抜粋)

第8条 授業科目の成績は、試験、平常点、研究報告、実験報告、設計製図、実技等を勘案して評価する。

2 評価は、100点を満点として60点以上を合格とする。

3 合格した者には、所定の単位を認定する。

4 成績通知表には、評価点及びGPA (Grade Point Average) を表記する。

5 進級再試験及び卒業再試験の評価は、通常の試験と同一の基準により採点した評価の1割を減じた点数とする。

本学(全学部共通の)「教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]」

厳格な成績評価に向けた取り組みを推進する

大学及び各学部は、各授業科目担当者が、明確化された到達目標と成績評価基準に基づき、厳格な成績評価を行っているかどうかを点検するとともに、到達目標や成績評価基準についての教員間の共通理解を形成する。また、GPAをはじめとする客観的な評価システムを導入することで、学修の成果を組織的に評価する仕組みをつくる。

アメリカのある大学での取り扱い例として、

「3セメスター(1年半)連続してG P Aが2.0未満の学生に対しては、退学勧告がなされる。突然退学勧告がなされるわけではなく、学部長等から学習指導・生活指導を行い、それでも学力不振が続いた場合に退学勧告となる。」

いずれにせよ、進学であれ就職であれ、世の中では頑張っただけ勉強し続けなければいけないのは変わらないようです。「生涯学習」と言いますからね。かく言う私も日々勉強中です。就職してからこのかた、学生時代よりはるかに勉強してますよ、本当に。学生時代に勉強しなすぎた報いかも知れませんが・・・